

# 規制改革推進会議 投資等ワーキング・グループ ご説明資料

南海放送株式会社  
代表取締役社長  
田中 和彦

# 1. はじめに ~ 南海放送とは ~

南海放送株式会社(ラジオ・テレビ兼営)

**1953年(昭和28年)南海放送開局 (今年開局65年)**

1969年(昭和44年)テレビ愛媛開局

1992年(平成4年) あいテレビ開局

1995年(平成7年) 愛媛朝日テレビ開局

**2016年度(平成28年度) 売上55億4069万円**

内訳 テレビ 48億3100万円

ラジオ 6億913万円

文化事業 1億55万円

**社員数 112名**(平成30年3月31日現在)

放送対象地域は愛媛県



愛媛県推計人口

1,354,766人(平成30年4月1日現在)

# 1.はじめに～南海放送とは～

## 経営指針

- (1)親しまれ信頼される民間放送として地域社会に密着し、その生活文化の向上に寄与する。
- (2)わが社のもつ複合的・立体的な媒体力を発揮し、文化産業としての飛躍をめざす。
- (3)安定的な企業発展のため、常に生産性と付加価値の向上に務める。
- (4)労使協力のもと経営基盤を確立、社員の長期的な生活安定をはかる。
- (5)絶えず意識改革を行い、創造的活力を新たにし、リーディング・メディアの地歩を強固にし、その責任を果たす。

## 2. 南海放送の課題と対応

### ラジオ・テレビ兼営局共通の課題

- (1) ラジオ局の経営
- (2) 多メディアの中でのテレビ・ラジオの生き残り

### 対応

- (1) ラジオ改革
  - デバイス(受信機)の減少に対し、県内CATVとの連携や自社でのインターネットラジオへの取り組み
- (2) ラジオ経営体質の強化
- (3) 編成改革
  - FM補完局(災害時にAM放送を補完する目的)の整備により、若者向けの番組編成を行う

## 3. 南海放送(民放地方局)の役割

### (1) 正確かつ迅速な情報発信

視聴者に対する最も大きな役割・責任は正確で豊かな情報の提供です。

特に災害時に、地域の被害を最小限に食い止め、住民の命を守るための報道活動を行います。

### (2) 地方からの情報発信

地域性あるコンテンツを自社制作することで、地方の魅力ある情報を自らの手で発信しています。

### (3) 地方経済への貢献

放送だけでなく、様々なイベントを実施することで、地方の文化・観光振興に貢献しています。

# 災害報道への取り組み

## 【南海放送ラジオとコミュニティFMが連携！】

- ・南海トラフ巨大地震など大規模災害が発生した場合、放送の継続はもちろん、地域住民の役に立つ、生活に密着した情報の発信が求められます。
- ・こうした事態に備え、南海放送ラジオは愛媛県内3つのコミュニティFMと平成30年3月に連携協定を結びました。
- ・ラジオ局同士が災害時に、番組の無償提供や技術協力、スタジオ使用など、番組制作や技術面で連携する協定です。

協定を結んだラジオ局

南海放送ラジオ	(松山市	91.7MHz)
FMラジオ バリバリ	(今治市	78.9MHz)
FMがいや	(宇和島市	76.9MHz)
Hello!NEW 新居浜FM	(新居浜市	78.0MHz)



# 災害報道への取り組み

## 【全国初 AM・FMで非サイマル（別番組）放送】

- FM放送は、災害時にAM放送を補完する目的で免許を与えられたFM補完局と呼ばれるものです。
- 通常、南海放送ラジオはAM(1116kHz)とFM(91.7MHz/91.2MHz)で同じ番組を放送しています。
- 南海トラフ巨大地震など大災害時には、日常よりも多様で、大量の情報提供が必要となります。
- 平成30年3月11日(日)22時30分からの1時間番組に限って実験的にAMとFMとで別々の番組を放送しました。  
非常時に備えて、地域住民のためのラジオ放送を目指しています。

放送番組名・内容

放送日時：平成30年3月11日(日)22時30分～23時30分

< AM放送 > 番組名「Heisei earthquakes」

< FM放送 > 番組名「妄想系防災特番『IF…もしも』」



# 地方からの情報発信

## 【オリジナルテレビドラマの制作】

- ・平成29年11月、オリジナルテレビドラマ『赤シャツの逆襲』を制作・放送。
- ・地元愛媛での節目の年、正岡子規・夏目漱石生誕150年を記念して、地方からのテレビドラマ発信を行いました。
- ・地元愛媛では、11月24日(金)19時からのゴールデンタイムで放送され、系列27局でも放送しました。



赤シャツ(横地石太郎)役  
佐藤 二郎

夏目漱石 役  
筧 利夫



赤い逆襲

24日(金)19:00~

ゆめモク  
南海放送



ドラマ宣伝TVCM30秒

# 地方からの情報発信

## オリジナルアプリ「南海放送アプリ」の開発



## (1) 開発経緯

最も身近なデバイスとなった“スマートフォンアプリ”  
デバイスとしての危機

ローカル局は何もしないのか?!

地域メディアとしての危機

地域情報の発信を大手スマホアプリに先を越される!



最強デバイス・スマホに情報発信して存在感を示さないと、地域から必要とされなくなる...



2015年2月「南海放送アプリ」誕生

## (2)コンセプト

スマホにも南海放送 愛媛の情報は私たちが提供する!  
双方の実現 局から天気やニュースを提供する一方、  
視聴者から写真や動画、メッセージを受信  
ネット系はアプリから 動画配信や災害情報の配信も  
アプリを使って接触可能

## (3)反響

地域から評価 累積ダウンロード数は4万到達間近!  
他局から評価 系列を超え日本テレビを始め全国各地の  
4局にライセンス提供

## (4)今後の展開

地域と普段からつながって、  
有事の際の情報発信、放送への誘導を目指します

# 地方経済への貢献

## 【地域に根ざした一大イベントへと成長した「愛媛マラソン」】

- ・全国でも異例の6時間生中継をテレビ・ラジオで実施。
- ・多くのランナーおよび視聴者から共感を得ています。  
第51回大会(平成25年)では、参加者によるインターネットでの評価点で、全国第1位の評価を受けました。
- ・2000人を超えるボランティアの参加や沿道の多くの市民応援などで、理想的な市民マラソンの形態の礎を築いています。

1963年(昭和38年)

競技マラソンとしてスタート

1988年(昭和63年)

第26回から30年間テレビ中継

2010年(平成22年)

第48回 市民マラソン化

6時間のテレビ生中継へ

2015年(平成27年)

第53回 1万人大会に

視聴率 22.5% (6時間平均)



## 地方経済への貢献

### 【愛媛F Cホームゲーム 全試合 テレビ録画中継】

- J2リーグ愛媛F Cのホームゲーム全試合を、試合当日の深夜に地上波テレビ録画中継で放送しています。
- この取り組みはDAZNが放映権を持つてからは全国初の試みです。
- 地元スポーツ文化のコンテンツ制作は、地域に根差した放送局の大切な役割です。今後も多くの視聴者と「地元スポーツの感動」を共有し、その一層の盛り上げりに貢献して参ります。

## 4.最後に（民放地方局の責任）

(1)情報収集・発信力の強化

(2)地方から全国・世界への情報発信

(3)地域のコンテンツ制作力の拡充

規制改革推進会議  
投資等ワーキング・グループ  
ご説明資料

南海放送株式会社  
代表取締役社長  
田中 和彦